

## 活 動 報 告 書

1	<p>団体名</p> <p style="text-align: center;">特定非営利活動法人別府八湯トラスト</p>
2	<p>活動内容</p> <p>（事業名）ベップユケムリ大学【ジュニア教室】新設及び『別府っ子検定』プログラムの作成実施事業</p> <p>（事業内容）学習資料『別府学』（3,4年生用）を基に初級コースの検定用テキストの作成。講座等プログラムを作成し、別府全域の多様な場の利用と多世代交流の場作りをふまえて実施する。</p>
3	<p>活動期間</p> <p style="text-align: center;">令和5年 7月 7日から 令和6年 3月29日まで</p>
4	<p>活動実施内容 ※詳細別紙添付</p> <p>1) 子育て中保護者対象に『別府学』に関する意識調査（ヒアリング）[7/26～7/28]</p> <p>2) 検討会（講座内容、資料内容の検討／講師候補への事業説明／講師勉強会等）[7/9～3/14]</p> <p>3) 【別府っ子検定】初級コースプログラム全8回の実施 [10/28～2/10]</p> <p>4) 初級コース用テキストの作成</p>
5	<p>活動の成果 ※詳細別紙添付</p> <p>1) 意識調査、ヒアリング5か所 サンプル7件</p> <p>2) 検討会、勉強会計9回 参加者のべ33名 大学生（APU・別府大学）、名人会（市内外から参加）20代から70代の多世代の方々にご参加いただいた。</p> <p>3) 座学3日間①②③、まちあるきと体験入浴会3コース④⑤⑥、検定試験日⑦、表彰式とフォローアップ講座⑧と予定プログラムを全て実施できた。少数ながら参加者に恵まれ、毎回、熱心な姿勢で向き合ってくれて、積極的な楽しい学びの場となった。小学1年から5年までの学年違いや校区違いで、居住地以外の別府の認識や別府八湯エリアの理解と別府全域への関心を引き出した。</p> <p>4) 事業初めにテキスト作成の予定だったが、重要な時期に運営者がコロナ罹患等で原稿案の作成が大幅に遅れ、講座の準備や実施で原稿作成が後回しとなり、作成が最後になったが、関係者の力添えで、より有効な内容のテキストが作成できた。</p>
6	<p>反省点や今後の目標</p> <p>【反省点】別府や別府温泉に関心の高い方々へ積極的に事業の紹介をした。初級テキストに関心が高く、計画通りにテキストが出来ていたら、販売ができ、事業収入を得る機会があった。</p> <p>【今後の目標】①参加小学生の関心をより引き出すには、丁寧に個々のレベルに対応することが必要で、入浴体験やまち歩きでの安全性からも10名以内の少人数定員が望ましく、持続可能のための受講料設定が課題。大人の参加（受験可）等受入範囲拡大で解決の可能性はある。そのため②初級テキストは、漢字にルビをふり、平仮名が読める外国人も理解可能。別府温泉文化を伝えるツールになる。対象を広げ、『別府学』の周知とともに検定の販売促進をはかりたい。③次年度は、初級の実施と共に「中級」「上級」の問題（テキストは学習資料自体を使用）を作成し、検定を継続実施する。④別府全域をフィールドに共学のベップユケムリ大学事業、『別府っ子検定』を【ジュニア教室】主催として、その展開においてメインプログラムにしたい。</p>